

設立趣旨書

1 趣旨

私たちは大分県北部を拠点として、一般市民及び地域団体に対して、観光振興、産業振興、地域振興、芸術文化スポーツの振興に関する事業を行い、地域の活力に寄与することを目的に NPO 法人 BTS みらいラボを設立します。

2 活動の背景と課題

私たちが拠点を置く大分県豊後高田市は、人口2万人余りの小さな町です。小さな町でも、行政の努力により、月刊誌「田舎暮らしの本」(宝島社)による「住みたい田舎ベストランキング」で、人口1万人以上3万人未満のまちで4部門の1位を独占し、全国初の6年連続の全部門トップに輝いています。観光の面でも「昭和の町」を中心とした観光事業により、全国的にも有名になりました。

町の活力のひとつの指標である人口は、移住者が増えたこと等により社会増とはなっているものの、自然減が続いており、全体的な人口増加にはつながっていません。また観光の面でもコロナ禍以降かつての観光客数を取り戻せていません。人口も増えず観光客も減ったため、町の活力は減衰する一方です。

そんな中、一般市民の手で町を活性化させ、未来を担う次世代の子供たちに何かを伝え、何かを残さなければいけないとの思いで平成15年に任意の市民団体を立ち上げ、行政からの支援を受け入場料無料の音楽イベント「昭和の町音楽祭」を昨年までコロナ禍での中断期間がありながらも今まで合計15回開催しました。

昨年開催した第15回昭和の町音楽祭でのアンケート調査によりますと、64%が市外からの来場であり、その内約40%人々が昭和の町を含める豊後高田市内の観光も兼ねて訪れていました。毎年開催していることで、交流人口増に寄与するイベントとして認知いただくとともに、未来の担う地元の子供たちや、将来的な移住者になり得る市外からの来場者へ、日頃生で観ることが出来ない『エンタメ』を楽しむことができる豊後高田市をアピールし、地域コミュニティの活性化を促すこともできたと思っております。

3 申請に至る経緯及び法人化の必要性

このような活動を今後も長期的に継続して行い、目指す地域の活性化を達成するためには、社会的な信用を得て資金調達(助成金申請、寄付募集等)を行い、幅広く活動する必要があり、法人化は急務であると考えました。ただし、この会はずべての会員がボランティアとして参加し、事業目的も営利を目的とはしていないので特定非営利活動法人の設立が望ましいと考えました。

4 設立までの主な経過

平成15年4月1日	任意市民団体「高田を盛上げる会」を発足
平成15年8月23日	第1回昭和の町音楽祭を主催
平成16年3月14日	第2回昭和の町音楽祭を主催
平成17年10月30日	第3回昭和の町音楽祭を主催
平成17年11月	豊後高田裸祭り「大たいまつ」実行委員会に参加
平成18年～平成20年	休止
平成20年	豊後高田裸祭り「大たいまつ」実行委員会を退会
平成21年11月21日	第4回昭和の町音楽祭を主催
平成22年	開催場所「豊後高田中央公園」改修のため昭和の町音楽祭を休止
平成23年4月1日	「高田を盛上げる会」から「BT-SOUNDS」に改名

平成23年8月23日 第5回昭和の町音楽祭を主催
平成24年3月 イベント「昭和の町レトロカー大集合」実行委員会に参加
平成24年11月4日 第6回昭和の町音楽祭を主催
平成25年11月3日 第7回昭和の町音楽祭を主催
平成26年10月26日 第8回昭和の町音楽祭を主催
平成27年10月18日 第9回昭和の町音楽祭を主催
平成28年10月16日 第10回昭和の町音楽祭を主催
平成29年10月22日 第11回昭和の町音楽祭を主催
平成30年10月28日 第12回昭和の町音楽祭を
第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭大分大会
分野別事業として主催
令和元年10月20日 第13回昭和の町音楽祭及び巨大マルシェ「ピクニックマーケット」を主催
令和2年～令和5年 コロナウィルス感染症の影響により昭和の町音楽祭を休止
令和6年10月20日 第14回昭和の町音楽祭及び巨大マルシェ「ピクニックマーケット2」を主催
令和7年10月19日 第15回昭和の町音楽祭及び巨大マルシェ「昭和の町夢市」を主催
令和8年1月10日 NPO 法人設立準備に係る協議
令和8年2月9日 設立総会開催

令和8年2月9日

NPO 法人 BTS みらいラボ

設立代表者 住所 豊後高田市新栄488番地2

氏名 後藤茂己